



12月に入ったばかりなのに天気予報で真冬の寒さの到来と聞くと、風の冷たさにいっそう寒さを感じました。しかし、子どもたちは少し鼻水が出ていても発熱が少なく、熱が下がるとすぐ元気になっています。抵抗力や免疫力がついてきているのかなと思います。

保育士が赤鼻のトナカイ♪を歌うと子どもたちの顔がパッと笑顔になりました。12月ならではのクリスマスソングがご家庭でもお買い物途中でも聞こえてきて、うきうきする気分になるのでしょうか。

年末に向けてあわただしい日が続くのではと思います。でも子どもたちの動きや言葉、表情などに表れる成長と愛らしさが、お家の方にとって喜びや希望となって、この一年の様々な出来ごとを和やかで穏やかなものに変えてくれるのではと思います。

来年も子どもたちが元気ですごし、楽しく遊びながら自分を表現できるよう支えていきたいと思っています。

☆ 指先を使って遊べるよ！

11月から新聞紙で遊んできました。初めに保育士が紙を破ってみせると、子どもたちも自分でビリビリ破り、紙をポンと放って雪のように散らしていました。また、牛乳パックやレジ袋に詰めたり、つまみ出したりも上手に出来ます。思いっきり破って散らして開放感も味わって紙の感触を楽しみました。12月はクレヨンで描いたり、シールを貼ったり、はがしたりして指先を使って遊ぶことを楽しんでいきます。



☆ お母さん！応援しています！ ある日の連絡帳より（原文通り）

（育児に家事にお仕事と頑張っているお家の方の連絡帳には、お子さんへの愛が溢れています。ちょっとご紹介してみました。）

さくらちゃんのお母さんより(9月の頃です)

悪いことをした時、「コラ」と怒った態度をとると、すぐに顔をゆがめて大泣き(ほぼウソ泣き)するようになりました。少し前までは、叱っても全然伝わってなかったのに、ちゃんと意味が分かるようになったんだなと思いました。ちゃんとごめんなさいまででたら抱きしめるようにしています。

☆ 新しいお友だちの紹介



O・Sくん

一緒に仲良く  
遊びましょうね

☆ お食事の風景(その4)

スプーンを使って食事ができるようになってきました。まだ手づかみになったり、こぼすことはありますが、自分で食べることに意欲満々です。



☆ お知らせ

12月20日(金)の生活発表会では、初めて舞台上がり、体操をしたり、歌にあわせてお友だちと手をつないだりしていつもの保育室での姿を表現出来たらと思っていますが、たくさんのお客様の前なのでどこまでできるかなと思います。立っているだけでも十分かわいいひよこ組さんです。お家の方と一緒に舞台上で触れ合い遊びをして楽しんでいただきたいと思います。



2019. 12. 10(火)

北風がピューピュー吹いてくるようになりました。園庭の桜やハナミズキのはっぱは、寒さに耐えきれず、ぶるぶる震えて落ちていました。冬支度を始めたようです。急な寒さから、鼻水が出たり、発熱する子どももいます。室温の調節、換気、湿度に気をつけながら、子どもの体調に気を付けて、健康に過ごせるようにしていきたいと思います。



### 「 トイレでおしっこ出来るよ 」

今までは、布オムツに排尿していた子ども達。しかし、少しずつ排尿間隔が長くなってきたので、布オムツが、濡れていない時は、トイレに誘うようにしてみました。するとタイミングが合い、トイレで排尿出来る子どもが増えてきました。友だちがトイレに行くのを見て、自立へと向かう子どももいます。トイレで排尿出来ると「せんせーでたよ」「ペーパーちょうだい」と、とても嬉しそうに知らせて来ます。排尿した後は、「せんせーお姉ちゃんパンツ履くー」と、満面の笑みを見せてくれる子ども達です。

### 「 ブロックで作れるようになったよ 」

ジョボブロックは、子ども達に人気です。今までは、保育士に「せんせーお家作って」等ブロックをもってきて頼むことが多かった子ども達ですが、最近は自分で組み合わせて「せんせーつくったよ」と、見せに来るようになりました。保育士でも難しい立体のお家やボールなどを作るようになってきています。「作ろう」という思いが自然と子どもたちの創造力を働かせて、イメージが湧いてきているのか遊ぼうという気持ちに繋がっています。



### 「 子どもの可愛いつぶやき 」

ジョボブロックで箱を作ろうとしていたとらじくん、なかなかはめ込むことが出来ないと少し泣きそうになりながら「せんせー、ブロックが怒るとー」と、言って来ました。はめ込むことが出来ない事を、ブロックが怒ったと見立てる発想の豊かさに面白いなと思ったのと、その子の感性を大切にしていこうと思いました。

### 「 生活発表会 」

12月20日は未満児の生活発表会です。絵本「でてこい、でてこい」が大好きな子ども達、ゾウやウサギが出てくると「ぴよんぴよん」と、ウサギの真似をしてジャンプしたり「のっしのっし」と、ぞうのように歩き楽しむようになりました。本番に向け衣装を着て舞台上で歌っています。カラフルな衣装を着ると「恭菜は、あかよ」や、「健太は、きいろー」等、友だち同士で見せ合いこをしています。色の違いにも気づくようになっていきます。子ども達の大好きな「きらきら星」では小さな可愛い手をキラキラさせて笑顔で歌います。発表会ではそんな姿を見て頂けたらと思っています。

### 「 出発進行！おー 」

遊戯室で、巧技台の登り降りや、マットの上で遊んだ後、部屋に戻る時に保育士が「汽車に乗るよー」と、言葉をかけると子ども達は、前の子どもの肩に手をおいて繋がって進むようになりました。まっすぐ進むよりは、くねくねの蛇行運転のほうが、楽しいようで、ニコニコして、汽車にのっています。みんなで一緒に出来るのが少しずつ増えています。



1歳児担任…今丸・崎野

## ちゅうりっぷ組だより



2019.12.10(火)

朝晩の寒さも一層厳しくなり、冬らしくなってきました。寒くなると、外へ出るのもためらってしまいそうですが、ちゅうりっぷ組の子どもたちは元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。天気のいい日は、できるだけ戸外で体を動かして風に負けない丈夫な体を作りたいと思います。



### 早くサンタさん来ないかな～

はさみで切った紙テープを糊で画用紙に貼りクリスマスリースを作りました。初めてはさみを使う子どもたち。保育士と一緒にはさみを持ち「チョッキン、チョッキン」とゆつくり刃を動かし紙テープを切っていました。繰り返し練習するうちに自分で刃を動かし切れるようになってきました。

出来上がったクリスマスリースは部屋の壁に貼りました。リースの下で子どもたちは「もうすぐサンタさんがくるよ」「サンタさんにプラレールお願いするんだ～」「○○はキティちゃんの靴よ」など話していてクリスマスを心待ちにしています。



### また遊ぼうね

11月28日に槻田小学校5年生のお兄さんたちが、ちゅうりっぷ組に遊びに来てくれました。春にも交流会があったので、今回はちゅうりっぷ組の子どもたちのために遊びを考えて来てくれました。じゃんけん列車やだるまさんが転んだなど少し難しい遊びでしたが、お兄さんたちと一緒に1時間楽しく遊んでいました。お別れの時には「また来てね!」と握手をして再会を楽しみにしているようでした。



今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様からご理解と温かい支援を頂き、感謝しています。ありがとうございます。

今年の保育納めは28日(土)です。1月4日(土)より保育始めとなります。元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。

来年もよろしく願いいたします。



ちゅうりっぷ組:草場



令和元年12月10日(火)

今年も残り1カ月となりました。時の流れの早さをつくづく実感する今日この頃です。クラス活動のなかで、友だち同士上手く気持ちが伝わらず、トラブルになることもあります。今では少しずつ相手の気持ちに気づき、「どうしたの？」などと優しく声をかけたりして、相手の気持ちに寄り添う、思いやりの姿も見られるようになってきました。寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちのそんな姿に心が温かくなります。

### 泣いた赤鬼

今年度の生活発表会は、浜田廣介さんの「泣いた赤鬼」を3、4、5歳の異年齢で表現します。3歳児にとっては、少し内容が難しいお話ではありますが、絵本を繰り返し読んだり、子鬼役になって4、5歳と一緒に泣いた赤鬼の劇ごっこしていきながら、子どもたちはストーリーを少しずつ覚えてきて、最近では、遊びの中で物語を再現して遊んでいる姿が見られます。手で頭の上に角をつくり「鬼だぞー」と鬼になってみたり、村人の役になって「きゃー鬼が来たぞー」と鬼から逃げる真似をしたり、ときには年長児のセリフや劇の中で表現している姿を真似してみたり…。それぞれが自分なりの言葉でセリフを言ってみたり、身振りを考えたり、登場人物になって表現することを楽しんでます。子どもたちと一緒に作った、ふたばオリジナルの「泣いた赤鬼」の生活発表会を楽しみにしてくださいね。

### ♪夕焼け小焼けで日が暮れて～

最近日は傾くのも早くなり、窓の外が薄暗くなってくると「あれ？暗くなってきたよ」「もう夜？」と話している子どもたち。

ある日の夕方、部屋で遊んでいた時のことです。ふと窓の外を見上げた子どもが「見て！夕焼け小焼け！」と声を上げると、その声につられて他の子どもたちも驚いたように窓の外に目を向けました。何だろうと目を向けてみると、窓の外には綺麗な夕焼け空が広がっていました。すると、誰からともなく“夕焼け小焼けで日がくれて～山のお寺の鐘が鳴る～”と歌が広がり、「わあ、きれい！！」「赤もオレンジもピンクもあるね！」「あ！だんだん紫も出てきたよ！」としばらく釘付けになっていた子どもたち。“カラスと一緒に帰りましょう”という歌詞のようにカラスが飛んでいる姿を見て「カラスもお家に帰りよる」「何かママに会いたくなってきた」「お迎えまだかな？」と夕焼けの幻想的な風景にちょっぴり寂しさも感じたようです。



3歳児担任：木山・田中



令和元年も最後の月、にぎやかな行事が多い12月となりました。

窓の外では北風が吹き始め、園庭の桜やクヌギの木の葉がピューピュー風に飛ばされて散っています。保育士が「ああ寒い！みんなは寒くないの？」と子ども達に聞くと、穴井りんちゃんが「寒くないよ。だって、子どもは風の子だから…」と歌い始めたばかりの『子どもは風の子』の歌詞を教えてくださいました。子どもに脱帽です。

### 槻田小学校の5年生と交流をしました。

4人のお兄さんと1人のお姉さんから「宝探し」「じゃんけん汽車」「動物のまねっこ遊び」「だるまさんが転んだ」等のゲーム遊びを教えてくださいました。子ども達が「まだしたい！」と何度もねだり、それに応えて5年生は繰返し遊んでくれました。触れ合って遊ぶうちに部屋中、笑い声でいっぱいになりました。最後に「どんな食べ物が好きですか？」「どんな洋服が好きですか？」等の質問攻めに5年生はタジタジでした。あつというまに楽しい1時間が過ぎ、小学校へ帰っていくお兄ちゃん、お姉ちゃんの姿が見えなくなるまで部屋の窓から、「また来てね！」「また来るね！」と別れを惜しんでいた子ども達、心に残る一日になりました。



### ハンカチで色んなものが作れるよ

ハンカチ遊びを始めました。ハンカチでバナナを作ったり、くるくる丸めて魔法の棒にして「誰がおりこうかな？」と子ども達の間を回ったりして遊んでいたら、いつの間にか子ども達が覚えて遊び始めました。そこで園長先生から頂いた、大きなハンカチでねこ・うさぎ・飴・指人形などを教えていると「先生、ハンカチ持ってきたよ。」と家からハンカチを持って来て、自分達でねこやうさぎを作りお話遊びをするようになっていきます。先日はハンカチで飴を作っていると非常ベルが鳴りました。みんなはすぐにそのハンカチで鼻と口を押え避難しました。色々な事に役立つハンカチです。

### 今月の絵本「ぶたのたね」

走るのが遅い狼と豚のお話に子ども達は大笑いです。「また読んで！」と毎日、リクエストされます。

### きらきら野菜畑で大きく育ってるよ

9月に種まきをした大根が1本、土の上から白く膨らんだ姿を現しました。近くで草取りを手伝ってくれたたここねちゃんとおおばちゃんに知らせると「うわ～ 本当。先生食べたい！」と早速、食べる話をしていた2人。「まだ先生の足くらい大きくなるまで待ってね！」と言ったら、その日の給食が『大根シチュー』でした。「ほら、大根が入ってるよ。」とスプーンに乗せてみんなに知らせると、「先生、これが大根？」「僕のも入ってるよ。」とみんなが大根を見つけ「これ美味しい。」と言いながら食べていました。



## たんぽぽだより 12月号



2019年12月10日(火) 発行

### 「泣いた赤鬼」をしよう！

浜田廣介さんが書いた代表作に「泣いた赤鬼」というお話があります。子どもたちの好きな絵本の一つです。

このお話に登場する赤鬼は、心の優しい鬼です。村人と遊びたいけれど、鬼であることから怖がられてしまいます。どうすれば村人とも仲良くなれるか、友達である青鬼に相談します。青鬼のアイデアで村人と心を通わせることができた赤鬼ですが…。

赤鬼や青鬼、村人になりみんなで遊んでいます。「鬼は力強いよね。ドシン、ドシンって歩こう」と鬼の歩き方を表現したり、涙がでる場面ではどのように泣くか考えたりしています。子どもたちと「このとき、赤鬼はどんな気持ちだろう？」等と話し合いながら、赤鬼の喜怒哀楽が全身で表現できるようにしています。

子どもたちの心にどんな思いが残ったのだろう。小さな愛の芽生えになればと思います。



槻田小学校1年生・5年生の交流と、三園交流会（つばさ保育園・春の町保育園）がありました。小学生や他園の園児との交流に、「たくさんいるかな?」「どんな場所だろうね?」と期待を膨らませていました。

小学生との交流では、はじめはお互い距離がありました。遊ぶうちに会話も笑顔も増え、帰り際には「また、遊ぼうね」と話していました。

「小学生って大きいね」や「小学校広かったな～」と小学校就学への憧れが強くなったようでした。

三園交流会では、つばさ保育園に行きました。各園一人ずつの3人グループでコーナー遊びをする中で、相手の名前を覚え「次は輪投げしよう!」や「(塗り絵をしている友達に)カラフルでかわいいね」と話かけていました。

今回の交流会で「友達が増えたよ」と話す子どもたちでした。今までよりも世界や視野が広がり、小学校就学前のいい経験になったのではないかと思います。



今年も残りわずかとなりました。年長児として様々な行事や経験を通して、強くて優しい思いやりの心を持った子どもたちです。

保護者の方々のご協力に感謝しています。ありがとうございます。

来年もどうぞ、よろしく願い致します。

5歳児担任：井上・本崎